

第16回 香川県立病院経営評価委員会会議次第

日 時：令和2年9月8日（火）14時00分～

場 所：香川県庁本館12階 大会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 令和元年度県立病院事業会計決算（見込み）について

(2) 第3次県立病院中期経営目標及び中期実施計画の実施状況について

(3) その他

4 閉 会

[資料内容]

- ・ 令和元年度県立病院事業会計決算見込みの概要 …… P1
（参考）香川県立病院の現状とこれまでの取組 …… P3、4
- ・ 中期実施計画の主な取組／収支計画の達成状況／中期指標の達成状況
病院局 …… P5～10
中央病院 …… P11～17
丸亀病院 …… P19～25
白鳥病院 …… P27～33

香川県立病院経営評価委員会委員

役 職	氏 名	職 業 等
会 長	くめがわ はじめ 久米川 啓	一般社団法人香川県医師会 会長
委 員	おかざき みえこ 岡崎 美恵子	公認会計士
〃	きなぎ すけむ 佐柳 進	特定医療法人茜会 昭和病院 院長
〃	たにだ かずひさ 谷田 一久	株式会社ホスピタルマネジメント研究所 代表取締役
〃	なかにし くみこ 中西 久美子	香川県母子愛育連合会 副会長
〃	まなべ ようこ 真鍋 洋子	アイル・パートナーズ株式会社 代表取締役会長
〃	わだ よりとも 和田 頼知	公認会計士

(敬称略、委員は五十音順)

令和元年度県立病院事業会計決算見込みの概要

① 収益的収支の状況

(消費税抜、単位:百万円、%)

区 分	令和元年度	平成30年度	増 減	伸 率	
病院事業収益	総 収 益	26,548	25,974	574	2.2
	医業収益	22,115	21,259	856	4.0
	うち入院収益	14,512	13,924	588	4.2
	うち外来収益	6,870	6,625	245	3.7
	医業外収益	4,426	4,705	△ 279	△ 5.9
	うち一般会計繰入金	2,868	2,893	△ 25	△ 0.9
	特別利益	7	10	△ 3	△ 30.0
病院事業費用	総 費 用	27,910	27,150	760	2.8
	医業費用	26,710	25,950	760	2.9
	うち給与費	13,777	13,485	292	2.2
	うち退職給付費	866	871	△ 5	△ 0.6
	うち材料費	7,206	6,851	355	5.2
	うち経費	3,445	3,148	297	9.4
	うち減価償却費	2,081	2,273	△ 192	△ 8.4
	医業外費用	1,178	1,065	113	10.6
特別損失	22	135	△ 113	△ 83.7	
総 収 支	△ 1,362	△ 1,176	△ 186		
累積欠損金	△ 5,868	△ 4,506	△ 1,362		

② 病院ごとの収支状況

(単位:百万円)

病 院 名	項 目	令和元年度	平成30年度	増減	主 な 増 減 理 由
中央病院	総収益	22,340	21,628	712	<収益> ・入院収益 +623 ・外来収益 +295 ・長期前受金戻入 △391
	総費用	23,119	22,347	772	<費用> ・給与費 +297 ・材料費 +387 ・経費 +256
	総収支	△ 779	△ 719	△ 60	・減価償却費 △189 ・その他雑損失 +118
丸亀病院	総収益	1,552	1,574	△ 22	<収益> ・入院収益 △18 ・外来収益 +4
	総費用	1,736	1,736	0	<費用> ・給与費 +1 ・材料費 △1
	総収支	△ 184	△ 162	△ 22	・経費 △2
白鳥病院	総収益	2,656	2,772	△ 116	<収益> ・入院収益 △17 ・外来収益 △54
	総費用	3,055	3,067	△ 12	<費用> ・給与費 △6 ・材料費 △31
	総収支	△ 399	△ 295	△ 104	・経費 +42 ・特別損失 △20
合 計	総収益	26,548	25,974	574	
	総費用	27,910	27,150	760	
	収支差	△ 1,362	△ 1,176	△ 186	

③ 患者数・診療単価・主な指標の状況

区 分	入 院									外 来						主 な 指 標			
	延患者数(人)			稼働病床利用率 (%)			診療単価 (円)			延患者数 (人)			診療単価 (円)			項目	令和元年度	平成30年度	H31計画
	令和元年度	平成30年度	増 減	令和元年度	平成30年度	増 減	令和元年度	平成30年度	増 減	令和元年度	平成30年度	増 減	令和元年度	平成30年度	増 減				
中央病院	155,310	156,684	△ 1,374	80.6	83.4	△ 2.8	80,445	75,762	4,683	261,429	258,409	3,020	22,355	21,474	881	総収支(百万円)	△ 1,362	△ 1,176	△ 958
丸亀病院	34,901	38,458	△ 3,557	61.1	67.5	△ 6.4	16,916	15,831	1,085	31,717	31,709	8	9,785	9,652	133	経常収支比率(%)	95.2	96.1	97.1
白鳥病院	33,980	36,509	△ 2,529	61.9	66.7	△ 4.8	42,018	39,576	2,442	85,868	91,679	△ 5,811	8,331	8,393	△ 62	医業収支比率(%)	84.6	83.6	87.4
合 計	224,191	231,651	△ 7,460	73.6	77.3	△ 3.7	64,731	60,109	4,622	379,014	381,797	△ 2,783	18,126	17,351	775	人件費比率(%)	53.8	55.1	54.2
																参考:総収支 (元年度2月補正比)	R1決算(税抜) △ 1,362	2月補正(税込) △ 1,566	増減 204

参考 香川県立病院の現状とこれまでの取組

(1) 香川県立病院の現状等

令和2年3月31日現在

項目	中央病院 (県の基幹病院)	丸亀病院 (県の精神医療の基幹病院)	白鳥病院 (特色ある地域の中核病院)
診療科目	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、血液内科、肝臓内科、緩和ケア内科、腫瘍内科、糖尿病内科、外科、頭頸(けい)部外科、呼吸器外科、消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺・内分泌外科、小児外科、整形外科、形成外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科 (32科)	内科、心療内科、思春期心療内科、精神科、リハビリテーション科、歯科 (6科)	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、外科、心臓血管外科、整形外科、小児科、泌尿器科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科 (13科)
許可病床数	一般 533 床 (うち結核 5 床、感染症 2 床) (稼働 533 床 (うち結核 5 床、感染症 2 床))	精神 215 床 (稼働 156 床)	一般 150 床 (稼働 150 床)
主な指定等	<ul style="list-style-type: none"> 救命救急センター 基幹災害拠点病院 へき地医療支援センター 地域がん診療連携拠点病院 DPC適用病院 (特定病院群) 地域医療支援病院 等 	<ul style="list-style-type: none"> 精神科救急輪番病院 精神科救急情報センター 精神科救急拠点病院 精神結核合併症患者の受入れ 医療観察法に基づく鑑定入院及び指定通院医療機関 応急入院指定病院 依存症専門医療機関 (アルコール) 等 	<ul style="list-style-type: none"> 病院群輪番制への参加 へき地医療拠点病院 無医地区への巡回診療 SARS 病床の設置 大川地区小児夜間救急医療への参加 広域救護病院 等

中期実施計画の主な取組

病院局

区分	令和元年度の主な取組	令和2年度の主な取組予定
1. 良質な医療サービスの提供	①医療機能の充実 ②医療の安全と質の向上 ・ 認定看護師の育成 ③患者サービスの向上 ・ 患者満足度調査の実施 ④地域医療への貢献	①医療機能の充実 ②医療の安全と質の向上 ・ 認定看護師の育成 ・ 医療安全研修会の開催 ③患者サービスの向上 ・ 患者満足度調査の実施 ・ 中央病院入退院支援センター(仮称)の整備 ④地域医療への貢献
2. 医療人材の確保・育成	①医師の確保・育成 ・ 白鳥病院の医師確保(寄附講座の設置) ②医療スタッフの確保・育成 ・ インターンシップの積極的な受入れ ・ 積極的な学校訪問の実施、採用試験の充実(大阪会場での開催) ・ 専門看護師の長期研修派遣 ③勤務環境等の改善・充実 ・ 職員満足度調査の実施、ワークライフバランスの推進 ・ 院内保育所の充実(保育時間の延長、夜間保育回数増)	①医師の確保・育成 ・ 白鳥病院の医師確保(寄附講座の設置) ②医療スタッフの確保・育成 ・ 看護学生を対象としたインターンシップ、Web説明会の実施 ・ 採用試験の充実(大阪会場での開催) ・ 専門看護師の長期研修派遣 ③勤務環境等の改善・充実 ・ 職員満足度調査の実施、ワークライフバランスの推進 ・ 院内保育所の充実(保育時間の延長、夜間保育回数増)
3. 災害等への対応力の強化	①大規模災害への対応力の強化 ・ 災害時備蓄物資等の計画的な整備 ・ 災害時連絡体制の整備・強化	①大規模災害への対応力の強化 ・ 災害時備蓄物資等の計画的な整備 ・ 災害時連絡体制の整備・強化 ・ 丸亀病院の災害拠点精神科病院の指定に向けた整備 ②感染症対策の実施 ・ 新型コロナウイルス感染症対策の実施
4. 安定的な病院経営の確立	①経営力の強化 ・ 経営会議(管理会計の強化)・経営評価委員会の開催 ・ 職員提案の推進、病院事業管理者との意見交換 ・ 会計処理の統一化・標準化の継続 ②収益の確保 ・ 診療報酬改定後の新たな施設基準届出促進 ・ 医療機器の計画的な整備のため各病院の要望提出時期の前倒し ③費用の適正化 ・ 診療材料の共同購入の効果検証 ・ 中央病院の情報システム更新に向けた検討 ・ 3病院一括の薬価交渉の一部試行 ④資金収支の改善 ・ 未収金の発生防止対策(中央病院で24時間会計開始)	①経営力の強化 ・ 経営会議(管理会計の強化)・経営評価委員会の開催 ・ 職員提案の推進、病院事業管理者との意見交換 ②収益の確保 ・ 一般会計繰入金の確保、補助金等の活用 ・ 医療機器の計画的な整備と有効活用 ・ 丸亀病院グラウンドの一部売却 ③費用の適正化 ・ 診療材料の共同購入の効果検証 ・ 3病院一括の薬価交渉の一部試行 ④資金収支の改善 ・ 未収金の発生防止と回収促進

収支計画の達成状況

〔R1計画差〕はR1計画額とR1実績額の差、
 〔R1前年度差〕はH30実績額とR1実績額の差を表す。

病院局

(単位 百万円)

以降、見直し後計画

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R1計画差	計画差の要因、取組等	
									R1前年度差		
①収益的収支											
収益計	(A)	計画			24,111	24,523	26,425	26,551	26,907	△ 3	
		実績	23,044	24,141	24,848	24,806	25,974	26,548		574	
医業収益	(A1)	計画			20,346	20,572	22,386	22,906	23,434	△ 315	
		実績	19,752	20,191	20,478	21,020	21,702	22,591		889	
入院収益		計画			13,616	13,998	14,587	15,066	15,581	△ 554	中央病院における延入院患者数の減や白鳥病院の消化器内科医の減等による減
		実績	13,216	13,239	13,309	13,536	13,924	14,512		588	
外来収益		計画			5,488	5,522	6,576	6,576	6,576	294	中央病院における患者数の増加及び高額腫瘍用薬の増加による増
		実績	5,483	5,860	5,970	6,300	6,625	6,870		245	
その他医業収益		計画			1,242	1,052	1,223	1,264	1,277	△ 55	
		実績	1,053	1,092	1,199	1,184	1,153	1,209		56	
一般会計負担金		計画			486	289	483	483	483	△ 7	
		実績	289	349	468	477	443	476		33	
その他		計画			756	763	740	781	794	△ 48	
		実績	764	743	731	707	710	733		23	
医業外収益	(A2)	計画			3,594	3,951	4,039	3,641	3,464	309	
		実績	3,220	3,615	3,691	3,769	4,262	3,950		△ 312	
一般会計繰入金		計画			2,035	2,232	2,320	2,297	2,141	95	
		実績	2,127	2,091	2,065	2,086	2,450	2,392		△ 58	
負担金		計画			2,033	2,230	2,317	2,294	2,138	91	中央病院、白鳥病院における増
		実績	2,124	2,089	2,063	2,083	2,443	2,385		△ 58	
補助金		計画			2	2	3	3	3	4	
		実績	3	2	2	3	7	7		0	
長期前受金戻入		計画			1,036	1,149	1,199	796	776	9	
		実績	562	1,002	1,040	1,094	1,199	805		△ 394	
その他医業外収益		計画			523	570	520	548	547	205	損害賠償金の支払いに伴う保険金の増
		実績	531	522	586	589	613	753		140	
特別利益		計画			171	0	0	4	9	3	
		実績	72	335	679	17	10	7		△ 3	

収支計画の達成状況

(「R1計画差」はR1計画額とR1実績額の差、
「R1前年度差」はH30実績額とR1実績額の差を表す。)

病院局

(単位 百万円)

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	以降、見直し後計画		計画差の要因、取組等
									R1計画差	R1前年度差	
費用計 (B)	計画			25,396	25,772	27,546	27,509	27,269		401	
	実績	25,074	26,035	26,017	26,424	27,150	27,910			760	
医業費用 (B1)	計画			24,290	24,673	26,318	26,198	25,867		512	
	実績	23,109	24,078	24,571	25,262	25,950	26,710			760	
給与費	計画			11,485	11,942	12,175	12,407	12,458		△ 259	
	実績	10,901	11,269	11,570	11,464	11,951	12,148			197	
退職給付費	計画			896	1,263	909	1,140	1,191		△ 274	退職者数の減等による減
	実績	778	1,135	1,104	1,016	871	866			△ 5	
退職給付費以外	計画			10,589	10,679	11,266	11,267	11,267		15	
	実績	10,123	10,134	10,466	10,448	11,080	11,282			202	
材料費	計画			5,665	5,763	6,896	6,827	6,827		379	
	実績	5,649	5,962	6,263	6,632	6,851	7,206			355	
薬品費	計画			2,892	2,892	3,664	3,586	3,586		204	中央病院における高額腫瘍用薬の使用増に伴う増
	実績	2,892	3,103	3,140	3,404	3,686	3,790			104	
診療材料費	計画			2,717	2,813	3,192	3,185	3,185		193	中央病院における手術件数増加に伴う増
	実績	2,699	2,816	3,079	3,193	3,132	3,378			246	
経費	計画			4,742	4,533	4,747	4,666	4,665		408	損害賠償金の発生に伴う増
	実績	4,063	4,430	4,357	4,709	4,683	5,074			391	
減価償却費	計画			2,187	2,227	2,287	2,081	1,635		0	
	実績	2,178	2,219	2,176	2,256	2,273	2,081			△ 192	
その他医業費用	計画			211	208	213	217	282		△ 16	
	実績	318	198	205	201	192	201			9	
医業外費用 (B2)	計画			947	940	1,066	1,151	1,242		27	
	実績	981	986	1,019	1,049	1,065	1,178			113	
特別損失	計画			159	159	162	160	160		△ 138	過年度損益修正損の減
	実績	984	971	427	113	135	22			△ 113	
医業収支 (A1-B1)	計画			△ 3,944	△ 4,101	△ 3,932	△ 3,292	△ 2,433		△ 827	
	実績	△ 3,357	△ 3,887	△ 4,093	△ 4,242	△ 4,248	△ 4,119			129	
経常収支 (A1+A2)-(B1+B2)	計画			△ 1,297	△ 1,090	△ 959	△ 802	△ 211		△ 545	
	実績	△ 1,118	△ 1,258	△ 1,421	△ 1,522	△ 1,051	△ 1,347			△ 296	
総収支 (X=A-B)	計画			△ 1,285	△ 1,249	△ 1,121	△ 958	△ 362		△ 404	
	実績	△ 2,030	△ 1,894	△ 1,169	△ 1,618	△ 1,176	△ 1,362			△ 186	

収支計画の達成状況

〔R1計画差〕はR1計画額とR1実績額の差、
 〔R1前年度差〕はH30実績額とR1実績額の差を表す。

病院局

(単位 百万円)

以降、見直し後計画

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	計画差の要因、取組等	
									R1計画差	R1前年度差
(損益勘定留保資金) (Y)	計画			1,268	1,190	1,186	1,384	1,018	△ 16	
	実績	2,045	2,136	1,643	1,358	1,299	1,368		69	
②資本的収支										
収入計 (C)	計画			2,271	1,315	1,474	1,192	2,604	△ 99	
	実績	1,041	1,774	2,384	1,301	1,443	1,093		△ 350	
企業債	計画			872	424	490	585	1,852	△ 62	建設改良費の減に伴う借入額の減
	実績	695	366	1,081	380	427	523		96	
長期借入金	計画			79	112	94	103	114	△ 72	建設改良費の減に伴う借入額の減
	実績	53	61	80	133	125	31		△ 94	
一般会計繰入金	計画			745	779	889	503	637	35	
	実績	270	707	746	780	890	538		△ 352	
負担金	計画			745	778	880	493	621	△ 2	
	実績	268	707	746	780	880	491		△ 389	
補助金	計画			0	1	9	10	16	37	
	実績	2	0	0	0	10	47		37	
その他	計画			575	0	1	1	1	0	
	実績	23	640	477	8	1	1		0	
支出計 (D)	計画			2,836	2,144	2,394	1,723	3,256	△ 109	
	実績	1,364	2,029	3,159	2,123	2,356	1,614		△ 742	
建設改良費	計画			1,339	576	624	730	2,009	△ 107	予算執行に伴う減
	実績	823	606	1,658	554	587	623		36	
企業債償還金	計画			1,447	1,514	1,711	910	1,160	0	
	実績	471	1,360	1,447	1,515	1,711	910		△ 801	
その他	計画			50	54	59	83	87	△ 2	
	実績	70	63	54	54	58	81		23	
収支差し引き (Z=C-D)	計画			△ 565	△ 829	△ 920	△ 531	△ 652	10	
	実績	△ 323	△ 255	△ 775	△ 822	△ 913	△ 521		392	
③単年度資金収支										
単年度資金収支 (X+Y+Z)	計画			△ 582	△ 888	△ 855	△ 105	4	△ 410	
	実績	△ 308	△ 13	△ 301	△ 1,082	△ 790	△ 515		275	

中期指標の達成状況

(評価基準)
 A R2計画以上 D H26実績以上
 B 対象年度計画以上 E H26実績未満
 C 前年度実績以上 ※減少期待指標は、以上を以下、未滿を更に読み替える。

病院局

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	以降、見直し後計画 (太枠: 目標指標)		評価 H28	評価 H29	評価 H30	評価 R1	計画差の要因、取組み等
											R1計画差 R1前年度差						
1. 良質な医療サービスの提供																	
②医療の安全と質の向上																	
7	認定看護師数	人	計画			21	23	25	27	29	△ 2	D	C	C	C	R1認知症看護(中央)1名、摂食・嚥下障害看護(丸亀)1名、感染管理(白鳥)1名合格 ※がん放射線療法看護(中央)1名を派遣予定だったが、家庭の事情により辞退したため、R2は0名	
			実績	19	21	20	22	22	25	3							
8	医療安全研修受講率	%	計画		55.0	65.0	75.0	85.0	95.0	100.0	—	D	E	C	—	※R1年度の医療安全研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
			実績	46.0	61.8	47.9	43.5	80.4	※	—							
③患者サービスの向上																	
11	患者満足調査による満足度(入院)	%	計画			87.0	88.0	89.0	89.5	90.0	1.5	B	B	D	A	総合評価では計画を達成したが、前年度に続き、「入院中の食事」の満足度68%が最も低かった。(前年比4%改善)	
			実績	87.0	86.0	88.0	88.0	87.0	91.0	4.0							
12	患者満足調査による満足度(外来)	%	計画			85.5	87.0	88.5	89.5	90.0	0.5	C	B	A	A	総合評価では計画を達成したが、前年度に続き、「あなたはこの病院を家族や友人・知人に紹介しますか」の満足度69%が最も低かった。(前年比2%悪化)	
			実績	87.0	84.0	84.0	89.0	91.0	90.0	△ 1.0							
2. 医療人材の確保・育成																	
①医師の確保・育成																	
18	医師充足率	%	計画			92.0	94.0	96.0	98.0	100.0	0.2	B	D	A	B	中央病院の救命救急センターや白鳥病院の消化器内科などは依然として不足している。 H30 101.2→R1 98.2 / 中央病院に「地域医療推進枠」(ポスト3)を新設したことが要因(R1~)	
			実績	87.6	91.9	96.3	92.5	101.2	98.2	△ 3.0							
②医療スタッフの確保・育成																	
20	新卒看護師の離職率	%	計画			14.0	12.5	11.0	9.5	8.5	4.1	B	E	B	D	新任看護師が先輩看護師とペアで業務を行う「ペア体制」を取り入れ、新任の不安解消を図っている。 H30新卒59人中5人が離職(結婚2、病気等1、転職2) R2新卒55人中7人が離職(病気等2、転職5) ⇒他職種(保健師・助産)等への転職が増加	
			実績	14.1	19.6	13.3	25.6	8.8	13.6	4.8							
3. 災害等への対応力の強化																	
①大規模災害への対応力の強化																	
23	業務継続計画(BCP)策定病院数	箇所	計画			3	3	3	3	3	0	A	A	A	A	H28年度に策定した計画に基づき、必要な災害用備蓄物資の予算化に取り組んだ。	
			実績	1	1	3	3	3	3	0							
4. 安定的な病院経営の確立																	
①経営力の強化																	
27	経営会議・経営評価委員会の開催	回	計画	a.経営会議は12回、b.評価委員会は毎年1回開催							0	A	A	A	A	計画どおり開催し、経営状況を把握・分析するとともに、経営改善に向け、収支改善に取り組んだ。	
			実績	a.12、b.1	a.10、b.1	a.12、b.1	a.12、b.1	a.12、b.1	a.12、b.1	a.12、b.1	a.0、b.0						
28	職員提案からの実現件数(累計)	件	計画		90	20	40	60	80	100	△ 24	B	C	C	C	R1 提案総数30件、うち実施済み・実施中7件 ICカードを活用した研修受講者管理の効率化(中病)、災害時用備蓄品管理の集約化(丸病)等。	
			実績	86	106	20	35	49	56	7							

中期指標の達成状況

(評価基準)

A R2計画以上 D H26実績以上

B 対象年度計画以上 E H26実績未満

C 前年度実績以上 ※減少期待指標は、以上を以下、未滿を更に読み替える。

病院局

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	以降、見直し後計画 (太枠: 目標指標)		評価 H28	評価 H29	評価 H30	評価 R1	計画差の要因、取組み等
											R1計画差	R1前年度差					
③費用の適正化																	
39	人件費比率(退職給付費を除く) [対医業収益比率]	%	計画		50.9	52.0	51.9	50.3	49.2	48.1	0.7		B	B	D	C	給与費(退職給付費を除く)はおおむね計画どおりとなったが、医業収益が計画を下回ったことによる。
			実績	51.3	50.2	51.1	49.7	51.1	49.9		△ 1.2						
40	人件費比率 [対医業収益比率]	%	計画		56.9	56.4	58.0	54.4	54.2	53.2	△ 0.4		E	B	D	B	医業収益は計画を下回ったが、退職給付費の減により、おおむね計画どおりの実績となった。
			実績	55.2	55.8	56.5	54.5	55.1	53.8		△ 1.3						
41	経常収支比率	%	計画		92.9	94.9	95.7	96.5	97.1	99.2	△ 1.9		E	E	C	E	医業収益が計画を下回ったことに加え、薬品費等の医業費用が計画を上回ったことによる。
			実績	95.4	95.0	94.4	94.2	96.1	95.2		△ 0.9						
42	医業収支比率	%	計画		82.1	83.8	83.4	85.1	87.4	90.6	△ 2.8		E	E	C	C	材料費の増加と損害賠償金の発生による医業費用の増による。
			実績	85.5	83.9	83.3	83.2	83.6	84.6		1.0						
43	材料費対医業収益比率	%	計画		29.8	27.8	28.0	30.8	29.8	29.1	2.1		E	E	C	E	材料費が計画を上回ったことに加え、医業収益が計画を下回ったことによる。
			実績	28.6	29.5	30.6	31.6	31.6	31.9		0.3						
44	うち 薬品費対医業収益比率	%	計画		15.5	14.2	14.1	16.4	15.7	15.3	1.1		A	E	E	C	中央病院において、高額な腫瘍用薬の使用量が増加したことによる。
			実績	14.6	15.4	15.3	16.2	17.0	16.8		△ 0.2						
45	うち 診療材料費医業収益比率	%	計画		14.1	13.4	13.7	14.3	13.9	13.6	1.1		E	E	C	E	中央病院において、手術件数増加に伴い手術材料の使用量が増加したことによる。
			実績	13.7	13.9	15.0	15.2	14.4	15.0		0.6						
④資金収支の改善																	
46	単年度資金収支	百万円	計画		△ 716	△ 582	△ 888	△ 855	△ 105	4	△ 410		B	E	B	C	
			実績	△ 308	△ 13	△ 301	△ 1,082	△ 790	△ 515			275					

中期実施計画の主な取組

中央病院

区分	令和元年度の主な取組	令和2年度の主な取組予定
1 良質な医療サービスの提供	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア病棟の増床 ・HCUの充実 ・通院治療センターの充実 ・がんゲノム医療の充実 <p>②医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルパスの作成数・適用率の向上 ・抗菌薬の適正使用の徹底 <p>③患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入退院支援センターの設置 ・外来待ち時間短縮の取組み <p>④地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的医療連携計画の策定、実行 ・高度救急医療体制の充実に向けたベッドコントロール体制の整備 ・緊急の紹介患者受入体制の充実 	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術体制の強化 ・心臓病・脳卒中医療の充実 ・がん診療体制の充実 <p>②医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルパスの作成数・適用率の向上 ・抗菌薬の適正使用の徹底 <p>③患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入退院支援センター(仮称)の設置 ・外来待ち時間短縮の取組み <p>④地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的医療連携計画の実行 ・救急医療体制の充実に向けたベッドコントロール ・救急患者受入体制の充実
2 医療人材の確保・育成	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ支援の充実 ・学生実習・見学受入れの継続 ・卒後臨床研修医充足のための説明会やプログラムの継続 <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度専門職員の充実 ・キャリアアップ支援の充実 <p>③勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革を実現するための体制の整備 ・院内デイケアの充実 ・職員満足度の向上 	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ支援の充実 ・学生実習・見学受入れの継続 ・卒後臨床研修医充足のための説明会やプログラムの継続 <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度専門職員の充実 ・キャリアアップ支援の充実 <p>③勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革を実現するための体制の整備 ・機能的な電子カルテ・部門システムの更新を実施するための検討 ・職員満足度の向上
3 災害等への対応力の強化	<p>①大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の定期的実施 ・DMAT(災害派遣医療チーム)数の維持 <p>②感染症対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症専門医による研修会の開催 	<p>①大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の定期的実施 ・DMAT(災害派遣医療チーム)数の維持 <p>②感染症対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症専門医による研修会の開催
4 安定的な病院経営の確立	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各診療科・部署毎の目標・計画の作成及び院長ヒアリングの実施 ・DPC・QI・医事データ等の様々なデータを分析し、フィードバックするための組織の強化・再編 ・マネジメントのできる事務職員の採用・育成 ・他病院とのベンチマークの実施及び視察 <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな施設基準の取得 ・新規入院患者数の増加 <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正な人員配置 ・診療材料専門スタッフ常駐と全国共同購入による材料費削減 	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各診療科・部署毎の目標・計画の作成及び院長ヒアリングの実施 ・DPC・QI・医事データ等の様々なデータを分析し、フィードバックするための組織の充実 ・マネジメントのできる事務職員の育成 ・チーム医療加算の充実・増加 <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな施設基準の取得 ・新規入院患者数の増加 <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正な人員配置 ・診療材料専門スタッフ常駐と全国共同購入による材料費削減

収支計画の達成状況

(「R1計画差」はR1計画額とR1実績額の差、
「R1前年度差」はH30実績額とR1実績額の差を表す。)

中央病院

(単位 百万円)

以降、見直し後計画

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	計画差の要因、取組等	
									R1計画差	R1前年度差
①収益の収支										
収益計 (A)	計画			19,601	19,937	21,591	21,670	21,994	670	
	実績	18,546	19,770	20,530	20,411	21,628	22,340		712	
医業収益 (A1)	計画			16,739	16,926	18,520	19,010	19,494	377	
	実績	16,232	16,754	17,090	17,570	18,401	19,387		986	
入院収益	計画			11,352	11,700	12,246	12,693	13,164	△ 199	平均在院日数短縮による延入院患者の減(新入院患者は目標値達成)
	実績	10,973	11,129	11,192	11,378	11,871	12,494		623	
外来収益	計画			4,298	4,326	5,238	5,238	5,238	607	外来患者の増加及び腫瘍用薬の増加
	実績	4,358	4,688	4,852	5,164	5,549	5,845		296	
その他医業収益	計画			1,089	900	1,036	1,079	1,092	△ 31	
	実績	901	937	1,046	1,028	981	1,048		67	
一般会計負担金	計画			419	223	401	401	401	4	
	実績	223	281	400	407	369	405		36	
その他	計画			670	677	635	678	691	△ 35	
	実績	678	656	646	621	612	643		31	
医業外収益 (A2)	計画			2,691	3,011	3,071	2,660	2,500	289	
	実績	2,245	2,684	2,767	2,840	3,222	2,949		△ 273	
一般会計繰入金	計画			1,291	1,487	1,552	1,529	1,374	65	
	実績	1,350	1,309	1,303	1,344	1,630	1,594		△ 36	
負担金	計画			1,289	1,485	1,549	1,526	1,371	61	
	実績	1,347	1,307	1,301	1,341	1,623	1,587		△ 36	
補助金	計画			2	2	3	3	3	4	
	実績	3	2	2	3	7	7		0	
長期前受金戻入	計画			932	1,021	1,028	628	623	8	
	実績	434	920	935	971	1,028	636		△ 392	
その他医業外収益	計画			468	503	491	503	503	216	損害賠償金支払に伴う保険金による増加
	実績	461	455	529	525	564	719		155	
特別利益	計画			171	0	0	0	0	4	
	実績	69	332	673	1	5	4		△ 1	

収支計画の達成状況

(「R1計画差」はR1計画額とR1実績額の差、
「R1前年度差」はH30実績額とR1実績額の差を表す。)

中央病院

(単位 百万円)

以降、見直し後計画

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R1計画差		計画差の要因、取組等
									R1前年度差		
費用計 (B)	計画			20,639	20,903	22,367	22,383	22,144		736	
	実績	20,096	21,279	21,250	21,558	22,347	23,119			772	
医業費用 (B1)	計画			19,718	19,988	21,338	21,269	20,952		824	
	実績	18,528	19,498	19,982	20,581	21,333	22,093			760	
給与費	計画			9,036	9,401	9,603	9,788	9,829		△ 107	
	実績	8,517	8,811	9,043	8,969	9,443	9,681			238	
退職給付費	計画			708	998	727	912	953		△ 219	
	実績	621	905	877	804	697	693			△ 4	
退職給付費以外	計画			8,328	8,403	8,876	8,876	8,876		112	
	実績	7,896	7,906	8,166	8,165	8,746	8,988			242	
材料費	計画			4,892	4,949	5,890	5,901	5,901		624	
	実績	4,851	5,165	5,474	5,814	6,138	6,525			387	
薬品費	計画			2,496	2,496	3,097	3,091	3,091		315	高額の腫瘍用薬の増加による
	実績	2,496	2,671	2,730	2,958	3,268	3,406			138	
診療材料費	計画			2,346	2,401	2,759	2,759	2,759		327	手術件数増加に伴う手術材料の増加による
	実績	2,303	2,456	2,706	2,826	2,842	3,086			244	
経費	計画			3,755	3,580	3,741	3,661	3,660		328	損害賠償金の増加による
	実績	3,111	3,492	3,437	3,726	3,673	3,989			316	
減価償却費	計画			1,863	1,873	1,922	1,723	1,301		△ 1	
	実績	1,814	1,862	1,861	1,895	1,911	1,722			△ 189	
その他医業費用	計画			172	185	182	196	261		△ 20	
	実績	235	168	167	177	168	176			8	
医業外費用 (B2)	計画			772	766	878	964	1,042		42	材料費の増加に伴う消費税の増加による
	実績	792	814	847	877	902	1,006			104	
特別損失	計画			149	149	151	150	150		△ 130	
	実績	776	967	421	100	112	20			△ 92	
医業収支 (A1-B1)	計画			△ 2,979	△ 3,062	△ 2,818	△ 2,259	△ 1,458		△ 447	
	実績	△ 2,296	△ 2,744	△ 2,892	△ 3,011	△ 2,932	△ 2,706			226	
経常収支 (A1+A2)-(B1+B2)	計画			△ 1,060	△ 817	△ 625	△ 563	0		△ 200	
	実績	△ 843	△ 874	△ 972	△ 1,048	△ 612	△ 763			△ 151	
総収支 (X=A-B)	計画			△ 1,038	△ 966	△ 776	△ 713	△ 150		△ 66	
	実績	△ 1,550	△ 1,509	△ 720	△ 1,147	△ 719	△ 779			△ 60	

収支計画の達成状況

〔R1計画差〕はR1計画額とR1実績額の差、
 〔R1前年度差〕はH30実績額とR1実績額の差を表す。

中央病院

(単位 百万円)

以降、見直し後計画

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R1計画差	計画差の要因、取組等
									R1前年度差	
(損益勘定留保資金) (Y)	計画			1,019	950	977	1,185	832	△ 21	
	実績	1,726	1,838	1,398	1,106	1,070	1,164		94	
②資本的収支										
収入計 (C)	計画			1,707	986	1,238	891	2,383	△ 107	
	実績	722	1,565	1,829	1,053	1,212	784		△ 428	
企業債	計画			410	219	428	462	1,800	△ 72	建設改良費の減に伴う借入額の減
	実績	503	233	627	268	377	390		13	
長期借入金	計画			64	94	75	86	97	△ 62	建設改良費の減に伴う借入額の減
	実績	37	47	66	111	99	24		△ 75	
一般会計繰入金	計画			658	673	735	343	486	27	
	実績	161	645	659	674	736	370		△ 366	
負担金	計画			658	673	726	333	470	△ 1	
	実績	161	645	659	674	726	332		△ 394	
補助金	計画			0	0	9	10	16	28	
	実績	0	0	0	0	10	38		28	
その他	計画			575	0	0	0	0	0	
	実績	21	640	477	0	0	0		0	
支出計 (D)	計画			2,180	1,706	2,000	1,259	2,880	△ 117	
	実績	935	1,752	2,511	1,770	1,967	1,142		△ 825	
建設改良費	計画			858	349	539	585	1,935	△ 115	投資計画の見直しによる減
	実績	610	456	1,185	413	506	470		△ 36	
企業債償還金	計画			1,285	1,316	1,417	608	877	0	
	実績	277	1,254	1,285	1,316	1,417	608		△ 809	
その他	計画			37	41	44	66	68	△ 2	
	実績	48	42	41	41	44	64		20	
収支差し引き (Z=C-D)	計画			△ 473	△ 720	△ 762	△ 368	△ 497	10	
	実績	△ 213	△ 187	△ 682	△ 717	△ 755	△ 358		397	
③単年度資金収支										
単年度資金収支 (X+Y+Z)	計画			△ 492	△ 736	△ 561	104	185	△ 77	
	実績	△ 37	142	△ 4	△ 758	△ 404	27		431	

中期指標の達成状況

中央病院

(評価基準)
 A R2計画以上 D H26実績以上
 B 対象年度計画以上 E H26実績未満
 C 前年度実績以上 ※減少期待指標は、以上を以下、未滿を更に読み替える。

以降、見直し後計画 (太枠: 目標指標)

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R1計画差 R1前年度差	評価 H28	評価 H29	評価 H30	評価 R1	計画差の要因、取組等
1. 良質な医療サービスの提供																
①医療機能の充実																
1	救急車受入(搬入)患者数	人	計画			3,500	3,550	3,600	3,650	3,700	77	E	E	C	A	ベッドコントロールの強化、HCUの開設などによる
			実績	3,514	3,569	3,404	3,343	3,453	3,727	274						
2	高額手術件数(10,000点以上)	件	計画			5,380	5,440	5,470	5,490	5,640	493	B	A	A	A	麻酔科医の増員、効率的な手術室の運用等による
			実績	5,046	5,328	5,580	5,769	5,774	5,983	209						
②医療の安全と質の向上																
9	インシデント報告件数	件	計画			3,050	3,070	3,090	3,110	3,110	576	D	D	A	A	医療安全研修会等を通じて、報告推進の啓発を継続的に実施した。
			実績	2,839	3,038	3,034	2,942	3,218	3,686	468						
10	クリニカルパス適用率	%	計画			50.0	52.0	54.0	56.0	58.0	△ 6.7	B	C	C	E	救急車受入患者の増加などにより緊急入院が増加による
			実績	49.7	49.8	50.0	50.1	50.3	49.3	△ 1.0						
③患者サービスの向上																
13	外来待ち時間の短縮 (予約時間終期～診療開始)	分	計画			14	14	14	14	14	10	A	E	E	E	外来患者の増加による
			実績	14	15	9	22	23	24	1						
④地域医療への貢献																
14	患者紹介率	%	計画			73.0	74.0	76.0	78.0	80.0	△ 1.8	B	D	D	C	紹介患者数による紹介率の増加
			実績	62.8	73.7	74.8	72.9	72.2	76.2	4.0						
15	患者逆紹介率	%	計画			78.0	78.0	78.0	79.0	80.0	4.5	A	B	A	A	診療情報提供患者の増加による
			実績	71.1	80.7	87.6	79.7	80.6	83.5	2.9						
16	紹介(受入)医療機関数	箇所	計画			1,360	1,370	1,380	1,390	1,400	86	B	A	A	A	病院訪問、セミナー、ホームページ等による地道なPRにより増加
			実績	1,353	1,402	1,389	1,440	1,480	1,476	△ 4						
17	公開講座等開催回数	回	計画			22	22	22	22	22	19	E	A	A	A	公開講座、診療科毎に実施している他の病院や診療所の医師も参加した勉強会を積極的に開催した。
			実績	22	11	7	28	45	41	△ 4						
2. 医療人材の確保・育成																
①医師の確保・育成																
19	卒後臨床研修医充足率	%	計画			77.4	93.5	100.0	100.0	100.0	△ 32.3	E	E	C	E	1年研修の医師が2名いたため、2年目の研修医が減少
			実績	76.0	75.0	71.0	67.7	71.0	67.7	△ 3.3						
②医療スタッフの確保・育成																
21	実習生受入人数(看護師)	人	計画			500	500	500	500	500	△ 102	A	A	E	C	個人情報漏えい事故があった学校については、改善対策の実施ができるまでは断ったため。
			実績	501	470	515	514	371	398	27						
22	実習生受入人数(その他)	人	計画			70	70	70	70	70	31	D	C	A	A	積極的に実習生の受入れを実施した。
			実績	50	83	64	65	79	101	22						

中期指標の達成状況

(評価基準)

A R2計画以上

D H26実績以上

B 対象年度計画以上

E H26実績未満

C 前年度実績以上

※減少期待指標は、以上を以下、未満を更に読み替える。

中央病院

以降、見直し後計画 (太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R1計画差		評価 H28	評価 H29	評価 H30	評価 R1	計画差の要因、取組等
											R1計画差	R1前年度差					
3. 災害等への対応力の強化																	
①大規模災害への対応力の強化																	
24	DMAT数(災害派遣医療チーム数)	チーム	計画			4	4	4	4	4	4	3	A	A	A	A	大規模災害への対応力の強化のため1チーム増強
			実績	3	3	4	4	6	7	1							
25	防災訓練回数(法定分を除く。)	回	計画			5	6	6	6	6	1	E	C	A	A	基幹災害拠点病院として、災害急性期の対応能力を強化するため、防災訓練を実施した。	
			実績	5	5	3	5	7	7	0							
②感染症対策の推進																	
26	感染症専門医による研修会開催件数	件	計画			2	2	2	2	2	11	A	A	A	A	県の感染症拠点施設として、感染症医療の充実を図るため、多くの教育、研修を実施した。	
			実績	1	1	9	12	12	13	1							
4. 安定的な病院経営の確立																	
②収益の確保																	
29	稼働病床利用率	%	計画		86.5	90.0	90.0	82.2	86.8	90.0	△ 6.2	E	E	B	E	患者数の算出方法変更のため	
			実績	88.9	87.1	85.2	83.5	83.4	80.6	△ 2.8							
30	入院単価	円	計画		67,387	68,577	69,684	78,721	75,494	75,794	4,951	B	B	C	A	高額手術の増加、新たな施設基準取得による	
			実績	67,197	69,270	71,442	73,792	75,762	80,445	4,683							
31	外来単価	円	計画		17,683	17,723	17,729	21,047	21,047	21,047	1,308	B	B	A	A	腫瘍用薬の増加による	
			実績	17,198	18,172	19,282	20,588	21,474	22,355	881							
32	1日平均入院患者数	人	計画		436	454	460	426	459	476	△ 35	E	E	B	E	患者数の算出方法変更のため	
			実績	447	439	429	422	429	424	△ 5							
33	1日平均外来患者数	人	計画		1,063	1,000	1,000	1,020	1,020	1,024	69	A	A	A	A	初診患者、再来患者の増加	
			実績	1,039	1,062	1,035	1,028	1,059	1,089	30							
34	新入院患者数	人	計画		12,932	13,540	13,650	13,281	13,914	14,350	81	C	E	B	B	救急患者、紹介患者の増加のため	
			実績	13,166	13,075	13,211	13,030	13,411	13,995	584							
35	新外来患者数	人	計画		28,357	26,840	26,840	26,840	26,840	26,840	3,023	A	A	A	A	救急患者、紹介患者の増加のため	
			実績	30,825	28,322	27,360	27,355	28,938	29,863	925							
36	検診センター検診者数	人	計画		8,837	8,801	8,837	8,837	8,837	8,801	△ 1,644	E	E	C	E	大型連休があったため	
			実績	9,050	8,061	7,466	7,295	7,336	7,193	△ 143							
37	平均在院日数	日	計画		11.7	11.9	11.9	11.5	11.4	11.5	△ 0.7	A	A	A	A	DPC入院期間短縮による	
			実績	11.8	11.7	11.2	11.2	11.0	10.7	△ 0.3							

中期指標の達成状況

中央病院

(評価基準)
 A R2計画以上 D H26実績以上
 B 対象年度計画以上 E H26実績未満
 C 前年度実績以上 ※減少期待指標は、以上を以下、未満を更に読み替える。

以降、見直し後計画 (太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R1計画差 R1前年度差	評価 H28	評価 H29	評価 H30	評価 R1	計画差の要因、取組等
③費用の適正化																
38	後発医薬品割合(数量ベース)	%	計画		61.1	70.0	70.0	70.0	70.0	80.0	18.7	B	B	A	A	後発薬発売状況を常時チェックし、使用量の多い薬剤を中心に適切な切替を実施したことによる
			実績	47.7	67.5	73.7	79.3	87.2	88.7	1.5						
39	人件費比率(退職給付費を除く) [対医薬収益比率]	%	計画		47.9	49.8	49.6	47.9	46.7	45.5	△ 0.3	B	B	B	B	収益の増加に伴う人件費比率の減による
			実績	48.6	47.2	47.8	46.5	47.5	46.4	△ 1.1						
40	人件費比率 [対医薬収益比率]	%	計画		53.6	54.0	55.5	51.9	51.5	50.4	△ 1.6	B	B	B	A	収益の増加に伴う人件費比率の減による
			実績	52.5	52.6	52.9	51.0	51.3	49.9	△ 1.4						
41	経常収支比率	%	計画		93.7	94.8	96.1	97.2	97.5	100.0	△ 0.8	B	E	B	D	長期前受金戻入の大幅減による
			実績	95.6	95.7	95.3	95.1	97.2	96.7	△ 0.5						
42	医薬収支比率	%	計画		84.1	84.9	84.7	86.8	89.4	93.0	△ 1.7	B	B	C	C	損害賠償金の増加による
			実績	87.6	85.9	85.5	85.4	86.3	87.7	1.4						
43	材料費対医薬収益比率	%	計画		31.2	29.2	29.2	31.8	31.0	30.3	2.7	E	E	E	E	腫瘍用薬及び高額手術材料の増加による
			実績	29.9	30.8	32.0	33.1	33.4	33.7	0.3						
44	うち 薬品費対医薬収益比率	%	計画		16.1	14.9	14.7	16.7	16.3	15.9	1.3	E	E	E	C	腫瘍用薬の増加による
			実績	15.4	15.9	16.0	16.8	17.8	17.6	△ 0.2						
45	うち 診療材料費対医薬収益比率	%	計画		14.9	14.2	14.2	14.9	14.5	14.2	1.4	E	E	C	E	高額手術材料の増加による
			実績	14.2	14.7	15.8	16.1	15.4	15.9	0.5						

中期実施計画の主な取組

区分	令和元年度の主な取組	令和2年度の主な取組予定
1 良質な医療サービスの提供	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 精神科救急・急性期医療の充実 ・ 専門外来の継続実施(児童・思春期、物忘れ外来をそれぞれ1日/週実施) ・ 訪問診療の継続・拡大 ・ 訪問看護、デイケアの充実 <p>②医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全カンファレンス(1回/週)における医療安全の推進に関する対応策の検討 ・ 多職種が連携する栄養サポートの実施(1回/週 ラウンド実施) ・ クリニカルパス、地域連携パスの推進 <p>③患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者満足度調査(1回/年)の実施 ・ 外来待ち時間調査(2回/年)の実施 ・ 病院のホームページの充実(情報量を増やすなど) ・ 「こころの相談窓口」の継続 <p>④地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公開講座(2回/年)の開催 	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 精神科救急・急性期医療の充実 ・ 専門外来の継続実施(児童・思春期、物忘れ外来をそれぞれ1日/週実施) ・ 訪問診療の継続・拡大 ・ 訪問看護、デイケアの充実 <p>②医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全カンファレンス(1回/週)における医療安全の推進に関する対応策の検討 ・ 多職種が連携する栄養サポートの実施(1回/週 ラウンド実施) ・ クリニカルパス、地域連携パスの推進 <p>③患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者満足度調査(1回/年)の実施 ・ 外来待ち時間調査(2回/年)の実施 ・ 病院のホームページの充実(情報量を増やすなど) ・ 「こころの相談窓口」の継続 <p>④地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公開講座(2回/年)の開催
2 医療人材の確保・育成	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関連大学との連携強化など <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修生、実習生の受け入れ <p>③勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークライフバランスの取り組みの更なる推進 	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関連大学との連携強化など <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修生、実習生の受け入れ <p>③勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークライフバランスの取り組みの更なる推進
3 災害等への対応力の強化	<p>①大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練(1回/月うち2回/年は院内合同避難訓練)の充実 ・ 宿・日直者対象の大規模災害発生時のシミュレーション訓練(2回/年)の実施 	<p>①大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害拠点精神科病院の指定に向けた整備 ・ 防災訓練(1回/月うち2回/年は院内合同避難訓練)の充実 ・ 宿・日直者対象の大規模災害発生時のシミュレーション訓練(2回/年)の実施
4 安定的な病院経営の確立	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員提案の促進 ・ 運営会議(1回/月)や医局会などにおける経営情報の共有 ・ 部門代表による収益確保の検討会の開催 <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 精神科急性期医師配置加算の算定開始 ・ 精神科地域移行実施加算の令和2年度算定を目指した退院促進 ・ 訪問診療の拡大 <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬品費、診療材料費の節減 ・ 照明、空調の電気、灯油使用料の節約 	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員提案の促進 ・ 運営会議(1回/月)や医局会などにおける経営情報の共有 ・ 部門代表による収益確保の検討会の開催 <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 精神科急性期医師配置加算の算定開始 ・ 精神科地域移行実施加算の令和3年度算定を目指した退院促進 ・ 訪問診療の拡大 <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬品費、診療材料費の節減 ・ 照明、空調の電気、灯油使用料の節約

収支計画の達成状況

〔R1計画差〕はR1計画額とR1実績額の差、
 〔R1前年度差〕はH30実績額とR1実績額の差を表す。

丸亀病院

(単位 百万円)

以降、見直し後計画

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R1計画差	計画差の要因、取組等
									R1前年度差	
①収益的収支										
収益計 (A)	計画			1,643	1,654	1,689	1,709	1,706	△ 157	
	実績	1,620	1,595	1,595	1,564	1,574	1,552		△ 22	
医業収益 (A1)	計画			1,015	1,017	1,089	1,096	1,103	△ 149	
	実績	989	976	972	936	962	947		△ 15	
入院収益	計画			658	658	678	687	694	△ 97	新規入院患者の減少により、入院患者数が減少した。
	実績	642	623	645	592	609	590		△ 19	
外来収益	計画			329	332	360	360	360	△ 50	デイケア患者数及び歯科患者数の減少による。
	実績	320	325	299	315	306	310		4	
その他医業収益	計画			28	27	51	49	49	△ 2	
	実績	27	28	28	29	47	47		0	
一般会計負担金	計画			17	16	22	22	22	△ 2	
	実績	16	16	17	19	20	20		0	
その他	計画			11	11	29	27	27	0	
	実績	11	12	11	10	27	27		0	
医業外収益 (A2)	計画			628	637	600	613	603	△ 8	
	実績	630	619	623	623	612	605		△ 7	
一般会計繰入金	計画			561	562	559	559	559	△ 1	
	実績	572	565	558	554	556	558		2	
負担金	計画			561	562	559	559	559	△ 1	
	実績	572	565	558	554	556	558		2	
補助金	計画			0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0	0		0	
長期前受金戻入	計画			32	36	36	38	28	0	
	実績	20	17	32	35	36	38		2	
その他医業外収益	計画			35	39	5	16	16	△ 7	他会計負担金(行政職退職給付費)の減による。
	実績	38	37	33	34	20	9		△ 11	
特別利益	計画			0	0	0	0	0	0	
	実績	1	0	0	5	0	0		0	

収支計画の達成状況

(「R1計画差」はR1計画額とR1実績額の差、
「R1前年度差」はH30実績額とR1実績額の差を表す。)

丸亀病院

(単位 百万円)

以降、見直し後計画

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	計画差の要因、取組等	
									R1計画差	R1前年度差
費用計 (B)	計画			1,820	1,831	1,837	1,863	1,858	△ 127	
	実績	1,865	1,791	1,787	1,763	1,736	1,736		0	
医業費用 (B1)	計画			1,775	1,785	1,795	1,816	1,806	△ 120	
	実績	1,757	1,753	1,749	1,726	1,699	1,696		△ 3	
給与費	計画			1,034	1,059	1,064	1,083	1,087	△ 53	
	実績	990	1,054	1,048	1,050	1,043	1,030		△ 13	
退職給付費	計画			81	114	73	91	95	△ 22	
	実績	68	100	104	90	70	69		△ 1	
退職給付費以外	計画			953	945	991	992	992	△ 31	医師1名が、元年度から嘱託となり、人件費が給与費から経費に移行した。
	実績	922	954	944	960	973	961		△ 12	
材料費	計画			192	192	218	208	208	△ 30	
	実績	192	197	185	190	178	178		0	
薬品費	計画			183	183	208	197	197	△ 28	
	実績	183	189	178	181	170	169		△ 1	
診療材料費	計画			6	6	8	9	9	△ 2	
	実績	6	6	5	7	6	7		1	
経費	計画			437	420	407	422	422	△ 36	修繕計画の見直しによる修繕費の減及び給食業務委託料等の減による。
	実績	427	391	405	378	375	386		11	
減価償却費	計画			107	110	99	99	85	△ 1	
	実績	82	103	105	105	97	98		1	
その他医業費用	計画			5	4	7	4	4	0	
	実績	66	8	6	3	6	4		△ 2	
医業外費用 (B2)	計画			44	45	41	46	51	△ 7	
	実績	46	37	38	36	35	39		4	
特別損失	計画			1	1	1	1	1	0	
	実績	62	1	0	1	2	1		△ 1	
医業収支 (A1-B1)	計画			△ 760	△ 768	△ 706	△ 720	△ 703	△ 29	
	実績	△ 768	△ 777	△ 777	△ 790	△ 737	△ 749		△ 12	
経常収支 (A1+A2)-(B1+B2)	計画			△ 176	△ 176	△ 147	△ 153	△ 151	△ 30	
	実績	△ 184	△ 195	△ 192	△ 203	△ 160	△ 183		△ 23	
総収支 (X=A-B)	計画			△ 177	△ 177	△ 148	△ 154	△ 152	△ 30	
	実績	△ 245	△ 196	△ 192	△ 199	△ 162	△ 184		△ 22	

収支計画の達成状況

〔R1計画差〕はR1計画額とR1実績額の差、
 〔R1前年度差〕はH30実績額とR1実績額の差を表す。

丸亀病院

(単位 百万円)

以降、見直し後計画

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	計画差の要因、取組等	
									R1計画差	R1前年度差
(損益勘定留保資金) (Y)	計画			77	76	65	63	60	△ 2	
	実績	64	91	76	71	66	61		△ 5	
②資本的収支										
収入計 (C)	計画			80	97	50	113	47	△ 21	
	実績	169	43	73	85	45	92		47	
企業債	計画			51	66	17	79	24	△ 19	建設改良費の減による。
	実績	153	33	44	52	13	60		47	
長期借入金	計画			7	6	6	5	5	△ 2	
	実績	5	3	7	6	5	3		△ 2	
一般会計繰入金	計画			22	25	26	28	18	0	
	実績	10	7	22	25	26	28		2	
負担金	計画			22	24	26	28	18	△ 1	
	実績	8	7	21	25	26	27		1	
補助金	計画			0	1	0	0	0	1	
	実績	2	0	1	0	0	1		1	
その他	計画			0	0	1	1	0	0	
	実績	1	0	0	2	1	1		0	
支出計 (D)	計画			104	123	78	143	68	△ 21	
	実績	177	52	97	110	74	122		48	
建設改良費	計画			61	75	26	88	33	△ 21	空調設備改修工事等に係る費用が計画値を下回ったため。
	実績	162	39	54	61	22	67		45	
企業債償還金	計画			40	45	48	50	29	0	
	実績	12	10	40	46	48	50		2	
その他	計画			3	3	4	5	6	0	
	実績	3	3	3	3	4	5		1	
収支差し引き (Z=C-D)	計画			△ 24	△ 26	△ 28	△ 30	△ 21	0	
	実績	△ 8	△ 9	△ 24	△ 25	△ 29	△ 30		△ 1	
③単年度資金収支										
単年度資金収支 (X+Y+Z)	計画			△ 124	△ 127	△ 111	△ 121	△ 113	△ 32	
	実績	△ 189	△ 114	△ 140	△ 153	△ 125	△ 153		△ 28	

中期指標の達成状況

(評価基準)
 A R2計画以上 D H26実績以上
 B 対象年度計画以上 E H26実績未満
 C 前年度実績以上 ※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

丸亀病院

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	以降、見直し後計画 (太枠:目標指標)		評価 H28	評価 H29	評価 H30	評価 R1	計画差の要因、取組等
											R1計画差	R1前年度差					
1. 良質な医療サービスの提供																	
①医療機能の充実																	
3	救急患者の受入れ数	人	計画		144	150	150	156	156	156	△ 10	B	E	C	C		救急車・警察車両による搬送の伸び悩み。時間外受診者数は前年度より増。
			実績	149	144	150	108	124	146	22							
4	デイケア患者数	人	計画		7,500	7,500	7,550	7,550	7,600	7,600	△ 952	E	C	C	E		入院中から退院後のデイケア参加を呼びかけ、新規登録者の確保に努めている。頻回な利用者の就労や入院などにより利用者が減。
			実績	7,218	7,547	6,027	6,574	7,152	6,648	△ 504							
5	訪問看護患者数	人	計画		1,000	1,050	1,050	1,100	1,100	1,100	△ 108	C	E	C	E		精神障害者の地域社会での生活維持のため、積極的に訪問看護を行っている。新型コロナ対策等で実施数減。
			実績	1,053	1,002	1,030	1,025	1,098	992	△ 106							
②医療の安全と質の向上																	
9	インシデント報告件数	件	計画		360	400	400	420	440	450	△ 98	C	E	E	C		前年度の目標値440件には達することが出来なかったが、前年度実績より23件(約7.2%)増加した。今後も、リスク管理を適切に行い、安全行動がとれるよう取り組んでいく。
			実績	546	360	388	376	319	342	23							
10	クリニカルパス適用率	%	計画		96.0	96.0	97.0	98.0	98.0	98.0	△ 9.0	E	E	E	C		身体合併症などで、他病院に転医していた患者が再入院した場合は、パスの適応外となるため。パスの活用は定着しており、今後もパスの活用を推進する。
			実績	94.5	99.3	89.2	89.0	88.0	89.0	1.0							
③患者サービスの向上																	
13	外来待ち時間の短縮 (受付時間～診療開始)	分	計画		14	15	15	15	15	15	0.3	A	D	A	D		待ち時間延長の要因は、患者数の増加や相談内容の複雑化で診療時間が延長したことによるものである。予約枠や、新患枠の調整を図り待ち時間を短縮していく。
			実績	19.2	15.1	12.8	15.5	13.6	15.3	1.7							
④地域医療への貢献																	
14	患者紹介率	%	計画		13.5	13.7	13.9	14.0	14.0	14.0	3.4	A	A	A	A		紹介患者等が計画値を上回っている。
			実績	13.3	15.6	15.1	16.9	17.8	17.4	△ 0.4							
15	患者逆紹介率	%	計画		21.7	22.3	22.3	22.3	22.3	22.3	2.9	A	E	A	A		他医療機関への紹介率が計画値を上回っている。
			実績	21.2	26.3	23.7	18.9	25.6	25.2	△ 0.4							
16	紹介(受入)医療機関数	箇所	計画		55	60	63	65	68	70	△ 9	B	B	A	E		
			実績	69	68	61	67	70	59	△ 11							
17	公開講座等開催回数	回	計画		1	1	1	1	2	2	0	B	B	B	A		・繪内医師による公開講座「発達障害について」(令和元年5月30日実施) ・院長による公開講座「すこやかな老いをめざして～認知症とその予防～」(令和元年11月11日実施)
			実績	1	1	1	1	1	2	1							

中期指標の達成状況

(評価基準)

A R2計画以上

D H26実績以上

B 対象年度計画以上

E H26実績未満

C 前年度実績以上

※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

丸亀病院

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	以降、見直し後計画 (太枠:目標指標)		評価 H28	評価 H29	評価 H30	評価 R1	計画差の要因、取組等
											R1計画差	R1前年度差					
2. 医療人材の確保・育成																	
②医療スタッフの確保・育成																	
21	実習生受入人数(看護師)	人	計画			290	290	290	290	290	290	△ 7	A	A	E	C	計画通り、看護学校等から学生の実習を受け入れた。 引き続き学生実習に協力していく。
			実績	284	290	296	305	277	283	6							
22	実習生受入人数(その他)	人	計画			13	15	15	15	15	15	△ 4	A	D	A	D	元年度は作業療法士などの実習を受け入れた。 引き続き学生実習に協力していく。
			実績	8	15	19	11	15	11	△ 4							
3. 災害等への対応力の強化																	
①大規模災害への対応力の強化																	
25	防災訓練回数(法定分を除く。)	回	計画			11	11	11	11	11	11	0	A	A	A	A	計画通り、基本的に毎月1回訓練を実施した。R2年度も同様に様々な状況設定で訓練を実施する。
			実績	11	11	11	11	11	11	0							
4. 安定的な病院経営の確立																	
②収益の確保																	
29	稼働病床利用率	%	計画		71.2	74.4	74.4	75.0	75.6	75.6	75.6	△ 14.5	C	E	E	E	入院患者数が減少し、対前年マイナス、計画値に達しなかった。
			実績	72.9	70.0	71.7	67.8	67.5	61.1	△ 6.4							
30	入院単価	円	計画		15,509	15,550	15,549	15,870	15,900	16,120	16,120	1,016	B	D	C	A	約18%の入院患者で精神科急性期医師配置加算を算定したことによる。
			実績	15,467	15,564	15,796	15,536	15,831	16,916	1,085							
31	外来単価	円	計画		9,892	9,950	9,993	10,315	10,315	10,315	10,315	△ 530	B	B	E	C	薬価改定による投薬料の減による。
			実績	9,856	10,312	10,006	10,113	9,652	9,785	133							
32	1日平均入院患者数	人	計画		111	116	116	117	118	118	118	△ 23	C	E	C	E	新規入院患者の減、退院患者の増による。
			実績	114	109	112	104	105	95	△ 10							
33	1日平均外来患者数	人	計画		131	136	136	143	143	144	144	△ 11	E	C	C	C	デイ・ケア利用者は減少したが、外来診察患者が増えた。
			実績	133	130	123	128	130	132	2							
34	新入院患者数	人	計画		185	186	192	192	192	192	192	△ 52	D	C	C	E	急性期患者を中心に積極的に入院患者を受け入れているが、計画値には及ばなかった。
			実績	164	172	167	167	169	140	△ 29							
35	新外来患者数	人	計画		612	618	624	624	624	624	624	△ 21	E	E	C	C	増加傾向にあるが、計画値には及ばなかった。 引き続き電話による初診予約を積極的に受け入れ、 新規患者の確保に努める。
			実績	843	611	537	511	576	603	27							
37	平均在院日数	日	計画		240.0	228.6	221.5	222.4	222.1	221.5	221.5	15.3	D	C	C	D	入院患者数は少ないが、新入院患者も計画より大幅に少なかったため、計画値より長くなった。
			実績	253.2	227.2	243.0	229.5	226.2	237.4	11.2							
③費用の適正化																	
38	後発医薬品割合(数量ベース)	%	計画		32.0	33.0	32.0	32.0	34.0	35.0	35.0	4.9	A	A	A	A	引き続き後発品の採用に努める。
			実績	31.5	36.2	35.6	36.1	35.8	38.9	3.1							

中期指標の達成状況

(評価基準)
 A R2計画以上 D H26実績以上
 B 対象年度計画以上 E H26実績未達
 C 前年度実績以上 ※減少期待指標は、以上を以下、未達を超に読み替える。

丸亀病院

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	以降、見直し後計画 (太枠: 目標指標)		評価 H28	評価 H29	評価 H30	評価 R1	計画差の要因、取組等
											R1計画差	R1前年度差					
39	人件費比率(退職給付費を除く) [対医療収益比率]	%	計画		97.1	93.9	92.9	91.0	90.5	89.8	11.1		C	E	C	E	医療収益が計画値を満たさなかったことによる。
			実績	93.2	97.7	97.1	102.6	101.2	101.6	0.4							
40	人件費比率 [対医療収益比率]	%	計画		107.6	101.9	104.1	97.7	98.8	98.5	10.1		C	E	C	E	医療収益が計画値を満たさなかったことによる。
			実績	100.1	108.0	107.8	112.2	108.5	108.9	0.4							
41	経常収支比率	%	計画		88.0	90.3	90.4	92.0	91.8	91.9	△ 2.3		C	E	C	E	医療収益が計画値を満たさなかったことによる。
			実績	89.8	89.1	89.3	88.5	90.8	89.5	△ 1.3							
42	医療収支比率	%	計画		55.3	57.2	57.0	60.7	60.4	61.1	△ 4.6		E	E	C	E	医療収益が計画値を満たさなかったことによる。
			実績	56.3	55.7	55.6	54.2	56.6	55.8	△ 0.8							
43	材料費対医療収益比率	%	計画		20.0	18.9	18.9	19.0	18.9	18.9	△ 0.2		C	E	A	A	材料費が計画値を下回ったことによる。
			実績	19.4	20.2	19.0	20.3	18.5	18.7	0.2							
44	うち 薬品費対医療収益比率	%	計画		19.0	18.0	18.0	18.0	17.9	17.9	△ 0.1		C	E	A	A	薬品費が計画値を下回ったことによる。
			実績	18.5	19.4	18.3	19.3	17.7	17.8	0.1							
45	うち 診療材料費医療収益比率	%	計画		0.7	0.6	0.6	0.8	0.8	0.8	△ 0.1		A	A	A	A	診療材料費が計画値を下回ったことによる。
			実績	0.6	0.6	0.5	0.7	0.6	0.7	0.1							

中期実施計画の主な取組

区分	令和元年度の主な取組	令和2年度の主な取組予定
1. 良質な医療サービスの提供	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師の宿日直体制の維持、訪問診療、訪問看護の継続実施 ・ 心臓カテーテル治療や化学療法、各種専門外来など、地域で完結できる質の高い急性期医療の提供 ・ 地域包括ケア病床の積極的な運用 <p>②医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全対策の推進、院内感染防止対策の推進 <p>③患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ、フェイスブックによる広報、患者満足度調査(1回/年)の実施 <p>④地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ K-MIXによる地域全体の診療の質の向上 ・ 五名地区でのへき地医療の継続 ・ 市民公開講座等の開催 	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師の宿日直体制の維持、訪問診療、訪問看護の継続実施 ・ 心臓カテーテル治療や化学療法、各種専門外来など、地域で完結できる質の高い急性期医療の提供 ・ 地域包括ケア病床の積極的な運用 <p>②医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全対策の推進、院内感染防止対策の推進 ・ 医科歯科連携の実施 <p>③患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ、フェイスブックによる広報、患者満足度調査(1回/年)の実施 <p>④地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ K-MIXによる地域全体の診療の質の向上 ・ 五名地区でのへき地医療の継続 ・ 市民公開講座等の開催
2. 医療人材の確保・育成	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院局との連携による医師確保のための積極的活動(寄附講座の設置) ・ 大学との連携を強化し、継続的な医師の派遣を要請 <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験学習、ふれあい看護体験、シャドーイング体験会の実施 ・ ハローワークやホームページによる求人、人材紹介会社の活用など <p>③勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師事務作業補助者や看護補助者の適正な配置による医師や看護師の負担軽減 	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院局との連携による医師確保のための積極的活動 ・ 大学との連携を強化し、継続的な医師の派遣を要請 <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験学習、ふれあい看護体験、シャドーイング体験会の実施 ・ ハローワークやホームページによる求人、人材紹介会社の活用など ・ 退院支援の充実等を図るためのMSW増員 ・ 看護実習受入学校の拡大 <p>③勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師事務作業補助者や看護補助者の適正な配置による医師や看護師の負担軽減
3. 災害等への対応力の強化	<p>①大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務継続計画(BCP)の院内周知及びそれに基づく発動機始動訓練の実施 <p>②感染症対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さぬき市民病院、太田病院と感染対策合同カンファレンスを実施 	<p>①大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務継続計画(BCP)の院内周知及びそれに基づく発動機始動訓練の実施 <p>②感染症対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さぬき市民病院、太田病院と感染対策合同カンファレンスを実施 ・ 新型コロナウイルス感染症対策の実施 ・ 他施設との相互チェックの実施
4. 安定的な病院経営の確立	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営委員会(1回/月)における経営情報の共有 <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケア病床の積極的な運用による病床稼働率の向上 ・ 人間ドックオプション検査の積極的な広報 ・ 新たな施設基準取得(地域包括ケア入院医療管理料1、入退院支援加算2) ・ 医事体制強化による地域連携の推進 <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品の採用拡大による薬品費の節減 	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営委員会(1回/月)における経営情報の共有 <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケア病床の積極的な運用による病床稼働率の向上 ・ 人間ドックオプション検査の積極的な広報 ・ 新たな施設基準取得(入退院支援加算1) ・ 医事体制強化による地域連携の推進 <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品の採用拡大による薬品費の節減

収支計画の達成状況

〔R1計画差〕はR1計画額とR1実績額の差、
 〔R1前年度差〕はH30実績額とR1実績額の差を表す。

白鳥病院

(単位 百万円)

以降、見直し後計画

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R1計画差	計画差の要因、取組等	
									R1前年度差		
①収益的収支											
収益計	(A)	計画			2,867	2,932	3,145	3,172	3,207	△ 516	
		実績	2,878	2,776	2,723	2,831	2,772	2,656		△ 116	
医業収益	(A1)	計画			2,592	2,629	2,777	2,800	2,837	△ 543	
		実績	2,531	2,461	2,416	2,514	2,339	2,257		△ 82	
入院収益		計画			1,606	1,640	1,663	1,686	1,723	△ 258	常勤の消化器内科医が不在となったことや、整形外科の中堅医師が異動し、新たに若手医師が配属されたことにより、患者数が減少した。
		実績	1,601	1,487	1,472	1,566	1,445	1,428		△ 17	
外来収益		計画			861	864	978	978	978	△ 263	常勤の消化器内科医が不在となったことや、整形外科の中堅医師が異動し、新たに若手医師が配属されたことにより、患者数が減少した。
		実績	805	847	819	821	769	715		△ 54	
その他医業収益		計画			125	125	136	136	136	△ 22	
		実績	125	127	125	127	125	114		△ 11	
一般会計負担金		計画			50	50	60	60	60	△ 9	
		実績	50	52	51	51	55	51		△ 4	
その他		計画			75	75	76	76	76	△ 13	
		実績	75	75	74	76	70	63		△ 7	
医業外収益	(A2)	計画			275	303	368	368	361	28	
		実績	345	312	301	306	428	396		△ 32	
一般会計繰入金		計画			183	183	209	209	208	31	
		実績	205	217	204	188	262	240		△ 22	
負担金		計画			183	183	209	209	208	31	
		実績	205	217	204	188	262	240		△ 22	
補助金		計画			0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0		0	
長期前受金戻入		計画			72	92	135	130	125	1	
		実績	108	65	73	88	135	131		△ 4	
その他医業外収益		計画			20	28	24	29	28	△ 4	
		実績	32	30	24	30	30	25		△ 5	
特別利益		計画			0	0	0	4	9	△ 1	
		実績	2	3	6	11	5	3		△ 2	

収支計画の達成状況

(「R1計画差」はR1計画額とR1実績額の差、
「R1前年度差」はH30実績額とR1実績額の差を表す。)

白鳥病院

(単位 百万円)

以降、見直し後計画

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R1計画差		計画差の要因、取組等
									R1前年度差		
費用計 (B)	計画			2,937	3,038	3,342	3,263	3,267		△ 208	
	実績	3,069	2,965	2,980	3,102	3,067	3,055			△ 12	
医業費用 (B1)	計画			2,797	2,900	3,185	3,113	3,109		△ 192	
	実績	2,824	2,827	2,840	2,955	2,918	2,921			3	
給与費	計画			1,415	1,482	1,508	1,536	1,542		△ 99	
	実績	1,394	1,404	1,479	1,445	1,464	1,437			△ 27	
退職給付費	計画			107	151	109	137	143		△ 33	
	実績	89	130	123	122	104	104			0	
退職給付費以外	計画			1,308	1,331	1,399	1,399	1,399		△ 66	医師減に伴う給料の減
	実績	1,305	1,274	1,356	1,323	1,360	1,333		△ 27		
材料費	計画			581	622	788	718	718		△ 215	
	実績	606	600	604	628	535	503			△ 32	
薬品費	計画			213	213	359	298	298		△ 83	高額な腫瘍用薬等の使用量減
	実績	213	243	232	265	247	215			△ 32	
診療材料費	計画			365	406	425	417	417		△ 132	心カテ件数等の減少により、高額な診療材料の使用量減
	実績	390	354	368	360	284	285			1	
経費	計画			550	533	599	583	583		116	地域医療連携医学講座(香川大学)の設置に伴う寄附金 嘱託医、事務職員の増加による報酬の増等
	実績	525	547	515	605	636	699			63	
減価償却費	計画			217	244	266	259	249		2	
	実績	282	254	210	256	265	261			△ 4	
その他医業費用	計画			34	19	24	17	17		4	
	実績	17	22	32	21	18	21			3	
医業外費用 (B2)	計画			131	129	147	141	149		△ 8	
	実績	143	135	134	136	128	133			5	
特別損失	計画			9	9	10	9	9		△ 8	
	実績	102	3	6	11	21	1			△ 20	
医業収支 (A1-B1)	計画			△ 205	△ 271	△ 408	△ 313	△ 272		△ 351	
	実績	△ 293	△ 366	△ 424	△ 441	△ 579	△ 664			△ 85	
経常収支 (A1+A2)-(B1+B2)	計画			△ 61	△ 97	△ 187	△ 86	△ 60		△ 315	
	実績	△ 91	△ 189	△ 257	△ 271	△ 279	△ 401			△ 122	
総収支 (X=A-B)	計画			△ 70	△ 106	△ 197	△ 91	△ 60		△ 308	
	実績	△ 191	△ 189	△ 257	△ 271	△ 295	△ 399			△ 104	

収支計画の達成状況

〔R1計画差〕はR1計画額とR1実績額の差、
 〔R1前年度差〕はH30実績額とR1実績額の差を表す。

白鳥病院

(単位 百万円)

以降、見直し後計画

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R1計画差	計画差の要因、取組等
									R1前年度差	
(損益勘定留保資金) (Y)	計画			172	164	144	136	126	7	
	実績	211	207	169	181	163	143		△ 20	
②資本的収支										
収入計 (C)	計画			484	232	186	188	174	29	
	実績	150	166	482	160	186	217		31	
企業債	計画			411	139	45	44	28	29	
	実績	39	100	410	60	37	73		36	
長期借入金	計画			8	12	13	12	12	△ 8	
	実績	11	11	7	16	21	4		△ 17	
一般会計繰入金	計画			65	81	128	132	133	8	
	実績	99	55	65	81	128	140		12	
負担金	計画			65	81	128	132	133	0	
	実績	99	55	65	81	128	132		4	
補助金	計画			0	0	0	0	0	8	
	実績	0	0	0	0	0	8		8	
その他	計画			0	0	0	0	0	0	
	実績	1	0	0	3	0	0		0	
支出計 (D)	計画			552	315	316	321	308	29	
	実績	252	225	551	243	315	350		35	
建設改良費	計画			420	152	59	57	41	29	
	実績	51	111	419	80	59	86		27	
企業債償還金	計画			122	153	246	252	254	0	
	実績	182	96	122	153	246	252		6	
その他	計画			10	10	11	12	13	0	
	実績	19	18	10	10	10	12		2	
収支差し引き (Z=C-D)	計画			△ 68	△ 83	△ 130	△ 133	△ 134	0	
	実績	△ 102	△ 59	△ 69	△ 83	△ 129	△ 133		△ 4	
③単年度資金収支										
単年度資金収支 (X+Y+Z)	計画			34	△ 25	△ 183	△ 88	△ 68	△ 301	
	実績	△ 82	△ 41	△ 157	△ 173	△ 261	△ 389		△ 128	

中期指標の達成状況

(評価基準)
 A R2計画以上 D H26実績以上
 B 対象年度計画以上 E H26実績未満
 C 前年度実績以上 ※減少期待指標は、以上を以下、未滿を更に読み替える。

白鳥病院

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	以降、見直し後計画 (太枠: 目標指標)		評価 H28	評価 H29	評価 H30	評価 R1	計画差の要因、取組等
											R1計画差	R1前年度差					
1. 良質な医療サービスの提供																	
①医療機能の充実																	
1	救急車受入(搬入)患者数	人	計画		930	935	940	945	945	950	△ 305	E	E	E	E		内科医の減少に伴い、内科医を毎日当直医師として配置できなくなったことなどから、受入れ患者数が減少した。今後も当院への搬送は可能な限り受けていく。
			実績	914	940	834	795	701	640	△ 61							
2	高額手術件数(6,000点以上)	件	計画		950	980	1,010	1,040	1,070	1,100	△ 237	E	E	E	E		内科、消化器外科では増加したものの、整形外科において中堅医師が異動し、新たに若手医師が配属されたことにより減少したため、全体としては微減した。
			実績	1,037	993	966	921	838	833	△ 5							
5	訪問看護患者数	人	計画		567	600	600	600	600	600	67	A	E	C	A		MSWの加入や看護部の積極的な訪問看護実施等により、退院後も継続した看護を必要とする高齢世帯、独居患者に対する支援が充実した。
			実績	441	567	610	296	447	667	220							
6	訪問診療患者数	人	計画		264	265	266	267	268	270	△ 70	A	A	E	E		医師数減少のため院外に出る機会が少なくなり、医師の訪問回数は減少した。
			実績	271	254	365	275	251	198	△ 53							
②医療の安全と質の向上																	
9	インシデント報告件数	件	計画		390	440	460	490	520	550	△ 160	E	C	C	E		医療安全推進委員会において、活動・周知等を実施しているが、前年度より報告件数が減少した。
			実績	468	377	318	353	388	360	△ 28							
10	クリニカルパス適用率	%	計画		46	46	46	46	46	46	△ 4.9	D	E	C	C		消化器内科医の減少により、大腸EMR等のパスを適用する症状の患者数が減少した。
			実績	41	46	41.2	40.5	41.0	41.1	0.1							
③患者サービスの向上																	
13	外来待ち時間の短縮 (予約時間始期～診療開始)	分	計画	-	50.0	48.0	46.0	44.0	42.0	40.0	△ 1.1	A	A	A	B		患者サービス委員会で待ち時間対策について検討し、各種取組を行った。
			実績		50.0	38.0	37.6	32.1	40.9	8.8							
④地域医療への貢献																	
14	患者紹介率	%	計画		21.7	22.0	22.3	22.6	22.8	23.0	6.3	C	A	A	A		分子部分の紹介患者数自体は減少しているが、分母部分の初診患者数の減少の方が大きいため紹介率が上昇した。
			実績	22.4	21.6	21.8	25.6	27.7	29.1	1.4							
15	患者逆紹介率	%	計画		13.5	14.0	14.8	15.6	16.4	17.3	9.2	B	E	A	A		分子部分の逆紹介患者数が増加し、分母部分の初診患者数が減少したため逆紹介率が上昇した。
			実績	14.3	13.5	15.2	14.1	21.6	25.6	4.0							
16	紹介(受入)医療機関数	箇所	計画		218	225	230	235	240	245	△ 31	A	E	B	E		一度のみの紹介の医療機関数が減少した。
			実績	232	218	260	226	244	209	△ 35							
17	公開講座等開催回数	回	計画		13	16	16	16	16	16	2	C	D	E	A		東かがわ市、大川地区医師会と共同開催により、生活習慣病や身近な病気について解説する市民公開講座などを実施している。
			実績	13	14	15	14	10	18	8							

中期指標の達成状況

(評価基準)

A R2計画以上 D H26実績以上

B 対象年度計画以上 E H26実績未満

C 前年度実績以上 ※減少期待指標は、以上を以下、未滿を更に読み替える。

白鳥病院

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	以降、見直し後計画 (太枠: 目標指標)		評価 H28	評価 H29	評価 H30	評価 R1	計画差の要因、取組等
											R1計画差	R1前年度差					
2. 医療人材の確保・育成																	
②医療スタッフの確保・育成																	
21	実習生受入人数(看護師)	人	計画		43	43	43	44	45	46	41		A	A	A	A	藤井学園寒川高等学校看護科の実習受け入れや、実習科目の増により、計画目標値を大きく上回っている。
			実績	46	43	46	54	53	86		33						
22	実習生受入人数(その他)	人	計画		14	14	14	14	14	14	△ 11		A	E	E	E	実習先と人脈のあったりハビリ担当者の異動や、県内出身の実習生の減少、地域包括ケア病床の開設に伴う負担増等によるもの。
			実績	11	14	14	10	6	3		△ 3						
3. 災害等への対応力の強化																	
①大規模災害への対応力の強化																	
25	防災訓練回数(法定分を除く。)	回	計画			3	4	4	4	4	△ 2		D	C	C	C	看護部各所属において、災害シミュレーション等を行ったほか、東讃保健福祉事務所主催の大規模災害時避難運営訓練に参加した。
			実績	1	3	2	2	2	2		0						
4. 安定的な病院経営の確立																	
②収益の確保																	
29	稼働病床利用率	%	計画		61.3	62.5	65.0	70.3	71.0	72.3	△ 9.1		E	B	D	E	地域包括ケア病床の増床等の取り組みを行ったものの、平均在院日数の減少などにより延患者数が減少し、昨年度より低下した。
			実績	66.1	61.4	61.2	69.0	66.7	61.9		△ 4.8						
30	入院単価	円	計画		44,007	44,453	44,502	43,183	43,250	43,500	△ 1,232		A	E	E	C	平均在院日数が減少したことにより、入院基本料の単価が増加した。(H30:20,790円 → R1:22,671円)
			実績	44,254	44,089	43,921	41,456	39,576	42,018		2,442						
31	外来単価	円	計画		7,873	7,873	7,873	8,548	8,548	8,548	△ 217		B	B	C	D	外科の外来単価が注射料の減などにより減少した。
			実績	7,346	8,039	7,934	8,027	8,393	8,331		△ 62						
32	1日平均入院患者数	人	計画		92	99	101	106	107	109	△ 14		E	B	D	E	新入院患者数は増加しているが、MSWの加入により退院支援がスムーズになり平均在院日数は減少した。また、短期滞在手術患者が増加した。
			実績	99	92	92	103	100	93		△ 7						
33	1日平均外来患者数	人	計画		435	450	450	469	469	471	△ 111		E	E	E	E	医師数減少のため、外来患者数も減少した。
			実績	449	434	425	419	376	358		△ 18						
34	新入院患者数	人	計画		2,136	2,168	2,200	2,143	2,264	2,300	△ 365		E	E	E	C	内科、整形外科は減少したものの、外科で手術件数増などにより増加したため、昨年度よりも微増した。
			実績	2,244	2,178	2,151	2,105	1,874	1,899		25						
35	新外来患者数	人	計画		11,350	11,460	11,570	11,680	11,790	11,900	△ 4,136		E	E	E	E	常勤の消化器内科医が不在となったことや、整形外科の中堅医師が異動し、新たに若手医師が配属されたことで減少した。
			実績	11,678	11,488	11,048	10,504	8,167	7,654		△ 513						
37	平均在院日数	日	計画		15.5	15.4	15.3	18.0	18.0	18.0	△ 0.1		A	A	E	A	MSWの加入により退院支援がスムーズになり平均在院日数は減少した。また、短期滞在手術患者が増加した。
			実績	16.0	15.5	15.5	18.0	19.5	17.9		△ 1.6						

中期指標の達成状況

(評価基準)
 A R2計画以上 D H26実績以上
 B 対象年度計画以上 E H26実績未満
 C 前年度実績以上 ※減少期待指標は、以上を以下、未滿を更に読み替える。

白鳥病院

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	以降、見直し後計画 (太枠:目標指標)		評価 H28	評価 H29	評価 H30	評価 R1	計画差の要因、取組等
											R1計画差	R1前年度差					
③費用の適正化																	
38	後発医薬品割合(数量ベース)	%	計画		66.0	68.0	70.0	73.0	77.0	80.0	1.3		B	B	B	B	H32目標値に向け、可能な範囲で後発医薬品を使用するようにしている。
			実績	63.6	68.9	74.0	77.9	78.6	78.3		△ 0.3						
39	人件費比率(退職給付費を除く) [対医薬収益比率]	%	計画		53.0	50.5	50.6	50.4	50.0	49.3	9.0		E	C	E	E	人件費は計画値より低くなったものの、医師の減少等により医薬収益が計画値を満たさなかったため。
			実績	51.6	51.8	56.1	52.6	58.1	59.0		0.9						
40	人件費比率 [対医薬収益比率]	%	計画		58.6	54.6	56.4	54.3	54.9	54.4	8.7		E	C	E	E	人件費は計画値より低くなったものの、医師の減少等により医薬収益が計画値を満たさなかったため。
			実績	55.1	57.0	61.2	57.5	62.6	63.6		1.0						
41	経常収支比率	%	計画		91.1	97.9	96.8	94.4	97.3	98.1	△ 10.4		E	E	E	E	経常費用は計画値を下回ったものの、経常収益がそれ以上に計画値を下回ったため。
			実績	96.9	93.6	91.4	91.2	90.8	86.9		△ 3.9						
42	医薬収支比率	%	計画		84.9	92.7	90.7	87.2	89.9	91.2	△ 12.6		E	C	E	E	医薬費用は計画値を下回ったものの、医薬収益がそれ以上に計画値を下回ったため。
			実績	89.6	87.1	85.1	85.1	80.1	77.3		△ 2.8						
43	材料費対医薬収益比率	%	計画		24.7	22.4	23.7	28.4	25.6	25.3	△ 3.3		A	A	A	A	医薬収益は計画値を満たさなかったものの、材料費がそれ以上に計画値を下回ったため。
			実績	23.9	24.4	25.0	25.0	22.9	22.3		△ 0.6						
44	うち 薬品費対医薬収益比率	%	計画		10.4	8.2	8.1	12.9	10.6	10.5	△ 1.1		A	A	B	A	医薬収益は計画値を満たさなかったものの、高額な腫瘍用薬の使用量の減少により薬品費が計画値を大きく下回ったため。
			実績	8.4	9.9	9.6	10.5	10.6	9.5		△ 1.1						
45	うち 診療材料費医薬収益比率	%	計画		15.4	15.4	15.4	15.3	14.9	14.7	△ 2.3		B	A	A	A	医薬収益は計画値を満たさなかったものの、心カテ等の高額な診療材料を使用する手術が減少し、診療材料費が計画値を大きく下回ったため。
			実績	15.4	14.4	15.2	14.3	12.2	12.6		0.4						

